

F O R I N V E S T O R S



T&D保険グループ

個人投資家向け会社説明資料

株式会社 T&Dホールディングス

■ T&Dホールディングスとは?	3
■ 投資対象としてのT&Dホールディングス	12
■ 今後の経営方針	19
■ 参考資料	



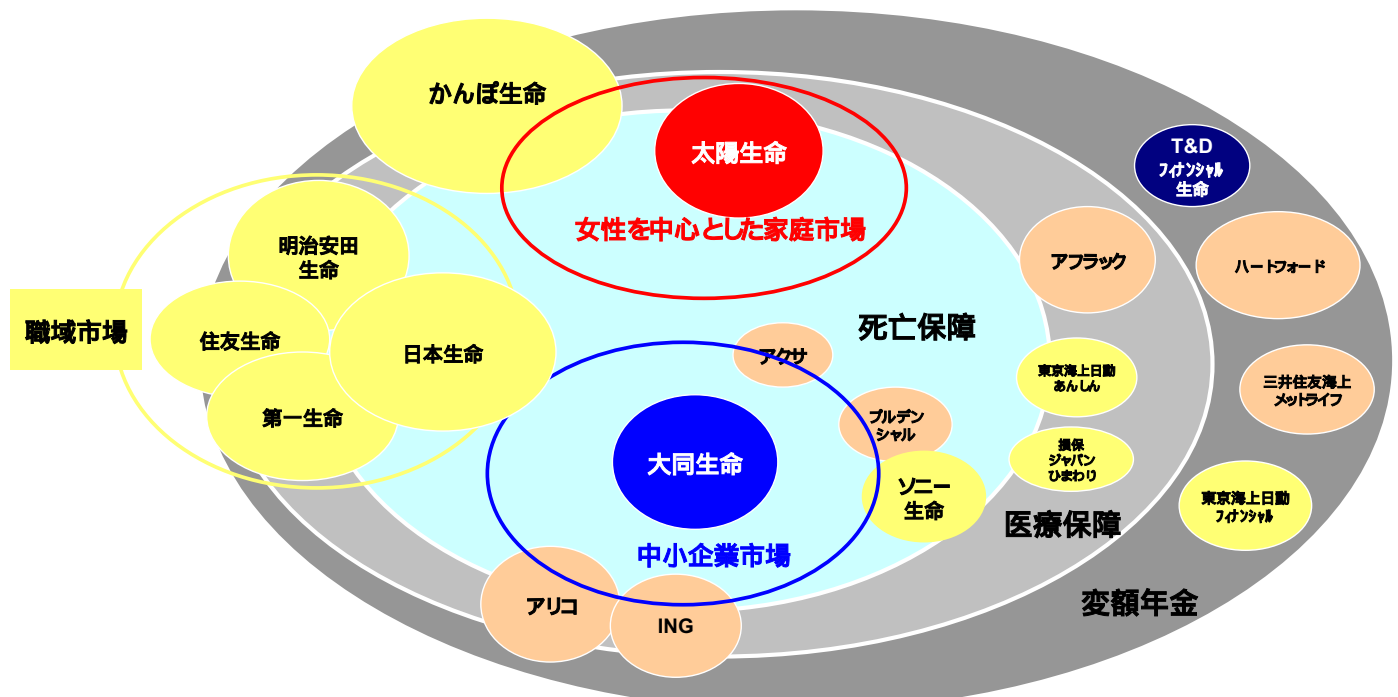
T&Dホールディングスとは?

T&Dホールディングスは、独自のビジネスモデルを持つ生保3社の持株会社です



	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命	国内大手生保
市場	■ 家庭市場	■ 中小企業市場	■ アッパーミドル層	■ 職域市場を中心に幅広く展開
チャネル	■ 営業職員	■ 代理店 (税理士等) ■ 営業職員	■ 代理店 (銀行、証券会社等)	■ 営業職員 ■ ホールセラー ■ 代理店 等
商品	■ ミドルサイズの死亡保障, 医療・介護保障	■ 定期保険	■ 変額年金	■ 幅広く取扱い

大手生保、外資系生保、損保系生保など多数のプレイヤーが存在しています



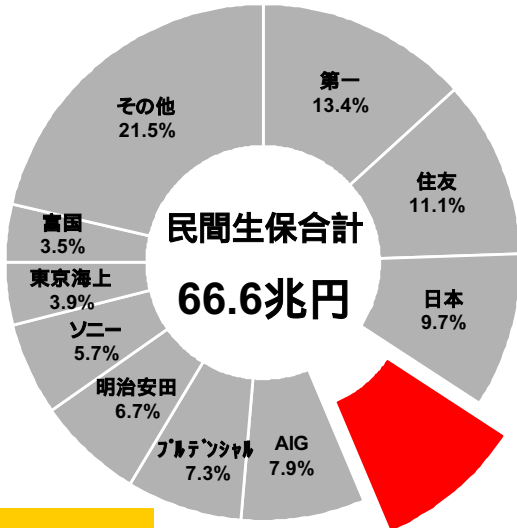
*当社作成のため、各社の認識と異なる場合があります。

T&D保険グループの市場シェアは 大手生保に次ぐ規模です

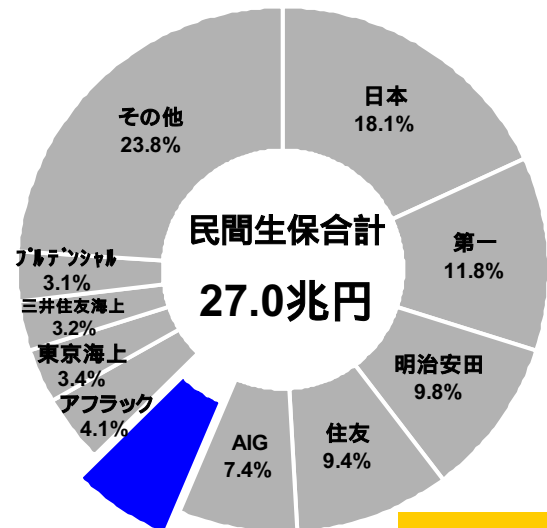


新契約高 (2008年3月期)

保険料収入 (2008年3月期)



T&D 9.3%
(第4位)



T&D 6.0%
(第6位)

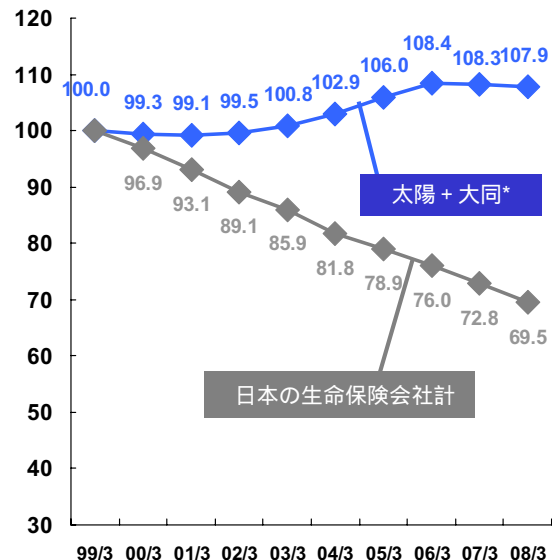
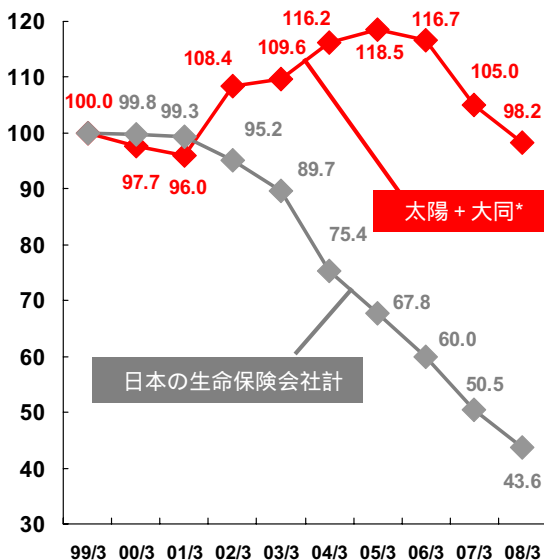
* 2008年3月期各社決算情報より当社作成
 ** T&D: 太陽生命+大同生命+T&Dフィナンシャル生命、第一-第一生命+第一フロンティア生命、
 AIG: アリコジャパン+AIGスター生命+AIGエシソン生命、ブルデンシャル: ブルデンシャル生命+ジブラルタ生命、
 東京海上: 東京海上日動あんしん生命+東京海上日動フィナンシャル生命、富国: 富国生命+フコクしんらい生命、
 三井住友海上: 三井住友海上きらめき生命+三井住友海上メットライフ生命

T&D保険グループの業績は 堅調に推移しています



新契約高

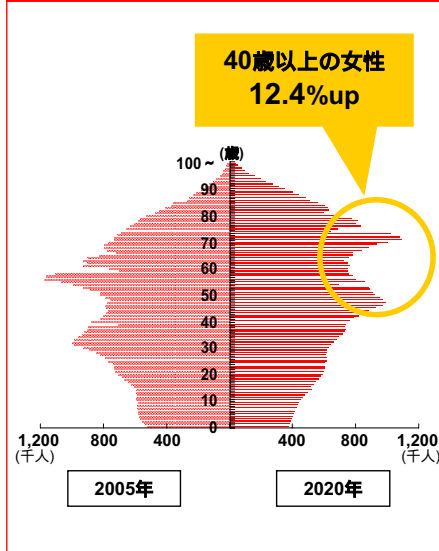
保有契約高



* 1999年3月期の新契約高、保有契約高を100として指数化、生命保険事業概況/年次推移等より当社作成
 ** 個人保険を対象。新契約高には、転換による純増加高を含む

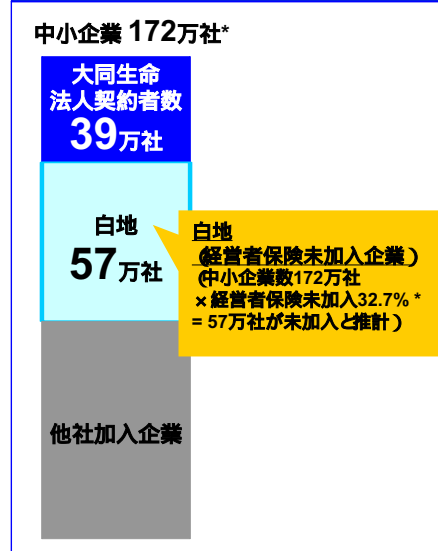
T&D保険グループの展開する市場には成長ポテンシャルがあります

太陽生命の 中高年の女性市場



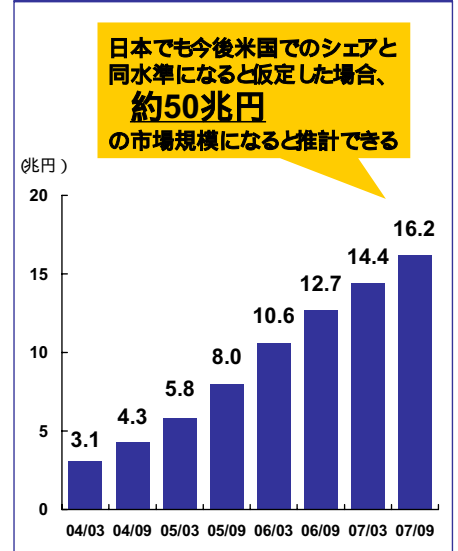
出所 国立社会保障・人口問題研究所「人口推計」より当社作成

大同生命の 中小企業市場



出所 中小企業数は、総務省「事業所 企業統計調査」(2006年) 経営者保険未加入率は、生命保険文化センター「企業の福利厚生制度に関する調査」(2002年)

T&Dファイナンシャル生命の 変額年金市場



出所：個人金融資産残高：日本銀行「資金循環統計」、変額年金資産残高：保険毎日新聞、日本銀行「資金循環の日米比較(2006年6月末)」およびNAVA Press Releaseより当社作成

太陽生命の主力商品は、ミドルサイズの死亡保障、医療 介護保障をパッケージにした商品です

トータルな保障をパッケージでそろえたい

- ◆ ミドルサイズの死亡保障をベースに、ニーズに応じて医療 介護 資金準備等の特約を付加できます
- ◆ ご契約後もライフサイクルにあわせて保障内容を見直すことができます

< ニーズに応じて自由に選択可能 >



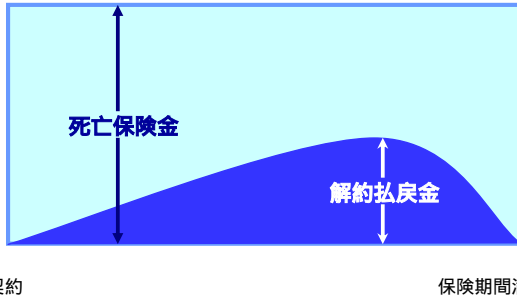
* 上記は、各社が販売する商品の一般的な特徴をイメージとして記載したものです

大同生命の主力商品は、中小企業経営者向けの個人定期保険です

長期保険に加え、キャッシュ・バリューを確保して将来活用したい

歳満期の定期保険

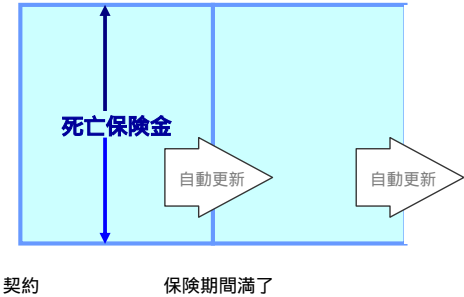
- ◆更新による保険料の上昇がなく、長期にわたる死亡保障を準備できます
- ◆経過年数に応じたキャッシュ・バリュー（解約返戻金）があり将来活用できます



割安な保険料で死亡・高度障害保障を準備したい

年満期の定期保険

- ◆保障に特化した（解約返戻金なし）短期の保険（5年・10年）のため、割安な保険料で死亡保障を準備できます



* 上記は、各社が販売する商品の一般的な特徴をイメージとして記載したものです

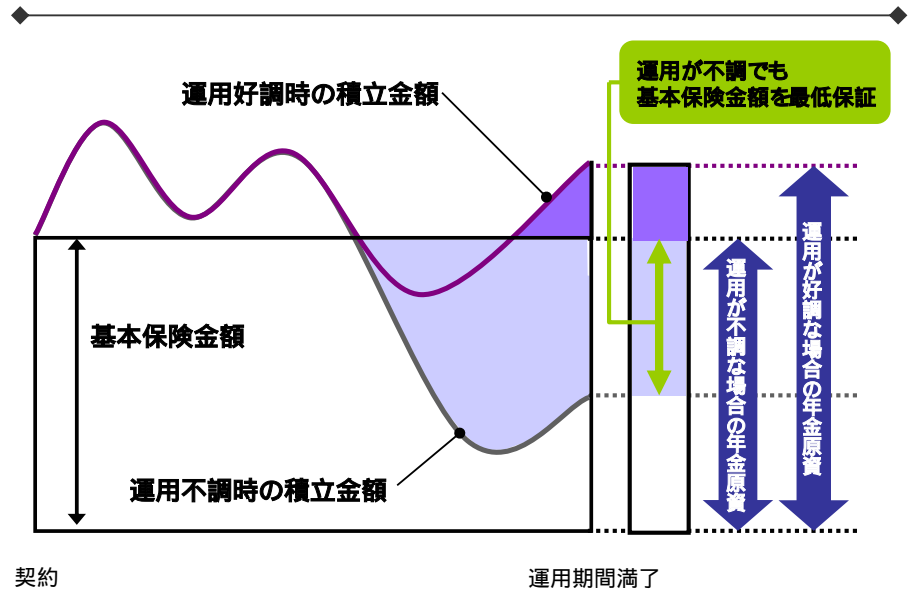
T&Dフィナンシャル生命の主力商品は、年金原資保証型の変額年金です

年金原資保証があり
早期に受取りたい

運用期間を短縮した年金原資保証付き変額年金

- ◆年金原資保証タイプの商品です
- ◆従来10年の運用期間であったものが、2008年6月末に発売された新商品では、最短5年になりました

年金原資保証のイメージ



* 上記は、変額年金における一般的な年金原資保証の特徴をイメージとして記載したものです

投資対象としての T&Dホールディングス

T&Dホールディングスの株価は
ご覧のように推移しています



上場来株価の推移



T&Dホールディングスの株を 一般的な株価評価指標で評価すると…

- 一般的な株式評価指標を用いたバリュエーションは困難です

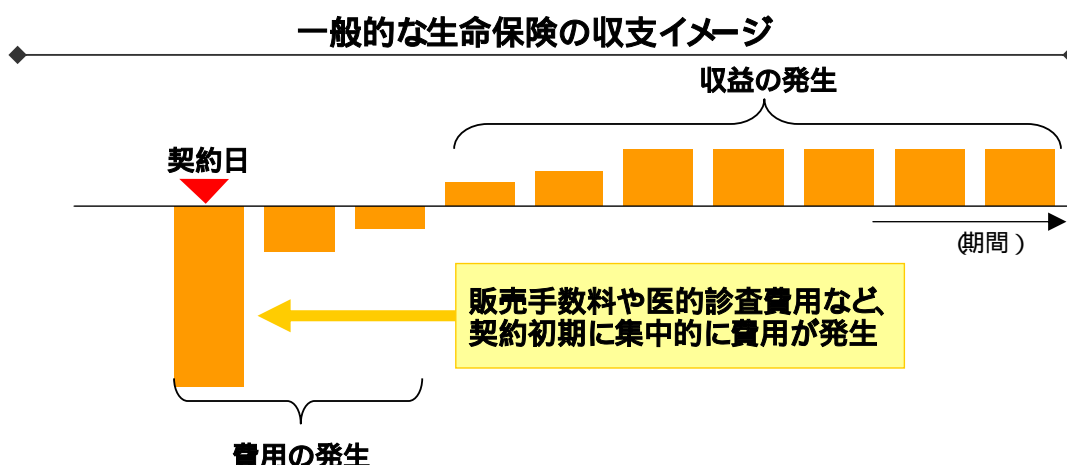
株価評価指標 (バリュエーション)	T&D	東証1部 全銘柄
PER (株価収益率)	45.8倍	19.3倍
PBR (株価純資産倍率)	2.5倍	1.1倍
ROE (株主資本利益率)	5.4%	5.5%

割高なのでは？

*T&Dの純利益・株主資本は2008年3月期基準、株価は2008年7月31日終値を使用
*東証1部データは、(株)東京証券取引所ホームページより、2008年7月末時点のデータを使用

生命保険会社の収益・費用認識の特殊性から 一般的な株価指標での評価は困難です

- 生命保険の契約期間は長期に亘るため、収益と費用の発生の認識にズレがあります
- 単年度の会計では、契約業績が好調であれば収益が減少、不調であれば費用が減少し収益が増加します



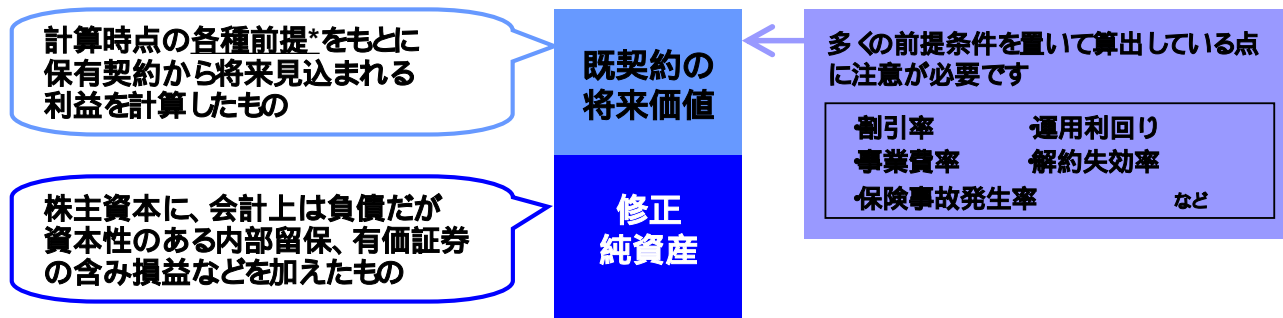
生命保険株式会社の企業価値を図る方法としてエンベディッド・バリュー (EV) があります



T&D保険グループ

EV
(エンベディッド・バリュー)

貸借対照表などから計算される「修正純資産」と保有契約に基づき計算される「既契約の将来価値」を合算した、株主に帰属する税引き後の純資産額



株価を1株あたりEVで割った「株価EV倍率 (P/EV)」を用いた株価評価の手法があります



T&D保険グループ

上場来P/EVの推移

(P/EV (株価/1株当たりEV))

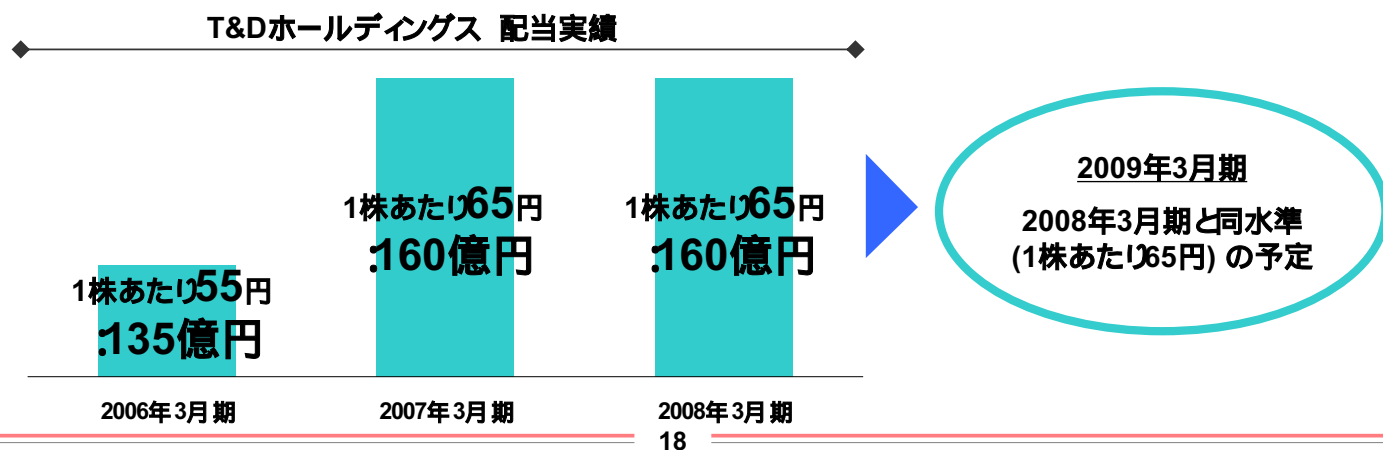


* 上記EV値は、EVの構成要素のうち既契約の将来価値は年次データ、修正純資産は四半期データを使って洗い替えたもの
** 2008年3月期以降のEVは、ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー原則に基づいた数値を使用

株主の皆さまを重視した 配当還元を実施しています

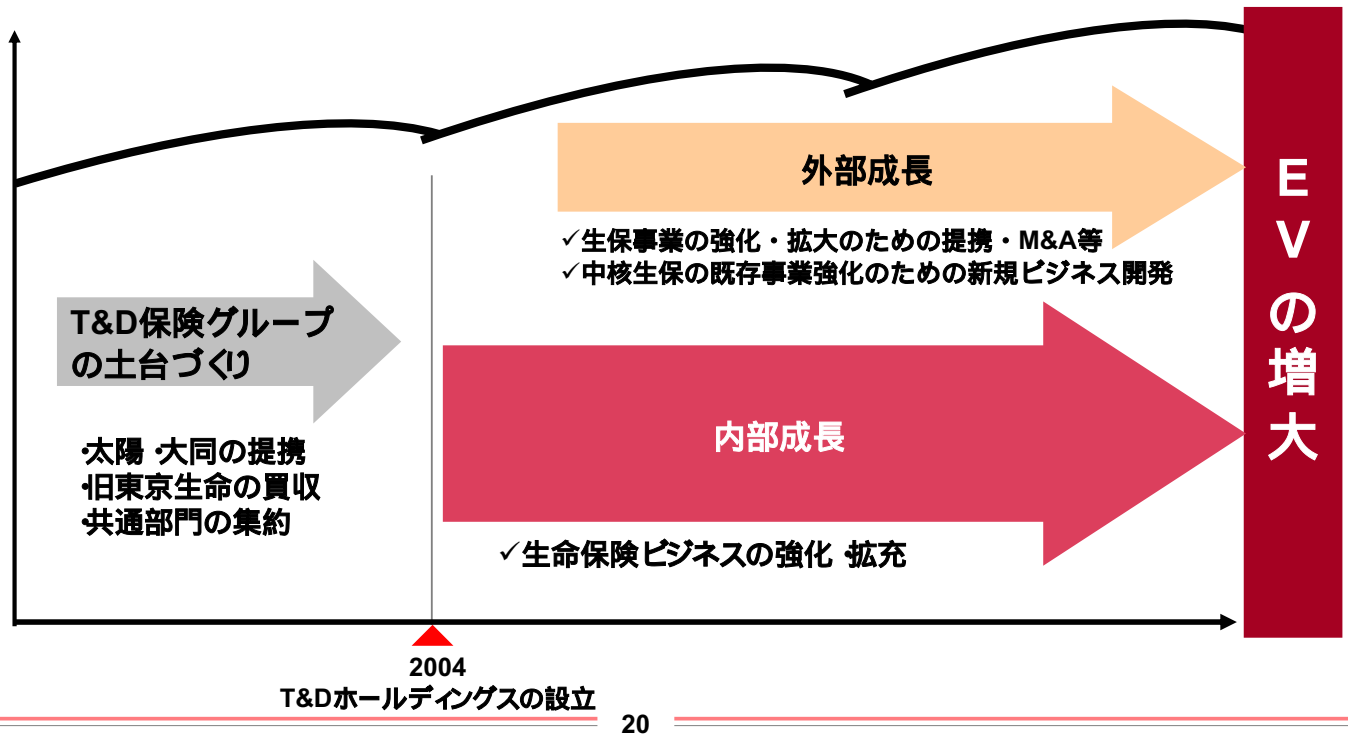
- 健全性と資本効率を維持しつつ、業績に連動した配当還元を基本とし、中長期的に実質的な利益 = 配当還元対象利益*の30%程度の株主還元を目指しています

$$\text{*配当還元対象利益} = \text{当期純利益} + \text{負債内部留保の超過繰入 (税引後)}$$



今後の経営方針

T&Dホールディングスは、内部成長・外部成長の両面から企業価値の増大を目指します



T&Dホールディングスは事業領域の拡大・深耕を目指します



- グループが現有しないチャンネル・マーケットの獲得により、国内生保事業ユニットの完成、EV増加に貢献する外部成長の実現を目指しています

・当社作成のため、各社の認識と異なる場合があります

販売チャンネル 市場	営業職員	ファイナンシャル プランナー	代理店	銀行 / 証券	ダイレクト
リテール			アリコ 東京海上日動あんしん 損保ジャパンひまわり		アリコ SBIアクサ
職域	大手各社		アフラック		
家庭	太陽生命				
アップ ミドル		ソニー プルデンシャル		T&Dフイナンシャル生命 ハートフォード 三井住友海上メットライフ	
中小企業	大同生命		大同生命		

- 成長市場に特化した独自のビジネスモデルを追求し、業界のなかでも堅調な業績を維持
- EVを企業価値の尺度と定義し、内部成長・外部成長の両面からEVの持続的な増大を目指す

参考資料

時価総額ランキング



T&D保険グループ

金融機関時価総額ランキング (2008年7月31日)

順位	社名	時価総額 (億円)
1	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	105,466
2	(株)三井住友フィナンシャルグループ	66,914
3	(株)みずほフィナンシャルグループ	59,944
4	東京海上ホールディングス(株)	32,824
5	野村ホールディングス(株)	30,982
6	(株)りそなホールディングス	17,885
7	(株)T&Dホールディングス	16,824
8	オリックス(株)	15,287
9	三井住友海上グループホールディングス(株)	15,167
10	(株)大和証券グループ本社	13,288
11	住友信託銀行(株)	12,580
12	(株)損保ジャパン	10,628
13	(株)横浜銀行	9,624
14	ソニーフィナンシャルホールディングス(株)	8,874
15	みずほ信託銀行(株)	8,491

<全銘柄>

44	(株)りそなホールディングス
45	京セラ(株)
46	富士フイルムホールディングス(株)
47	伊藤忠商事(株)
48	(株)商船三井
49	(株)T&Dホールディングス
50	シャープ(株)
51	富士通(株)
52	キリンホールディングス(株)
53	三菱重工業(株)
54	花王(株)

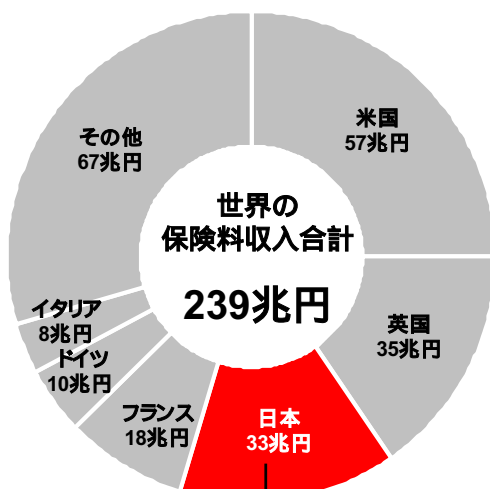
*対象を銀行・証券・リース・保険とした

日本の生命保険市場



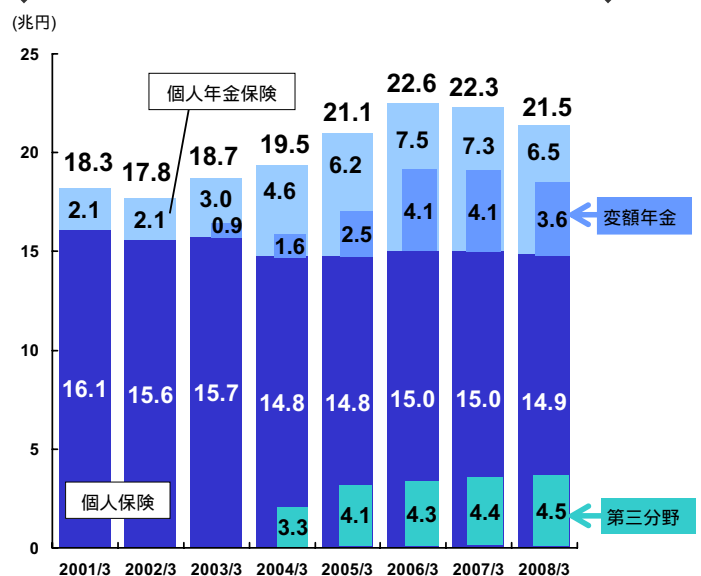
T&D保険グループ

生命保険料収入の国別シェア



民間生保 27兆円
(うち個人保険14兆円)
簡易保険3兆円など

民間生保の保険料収入推移

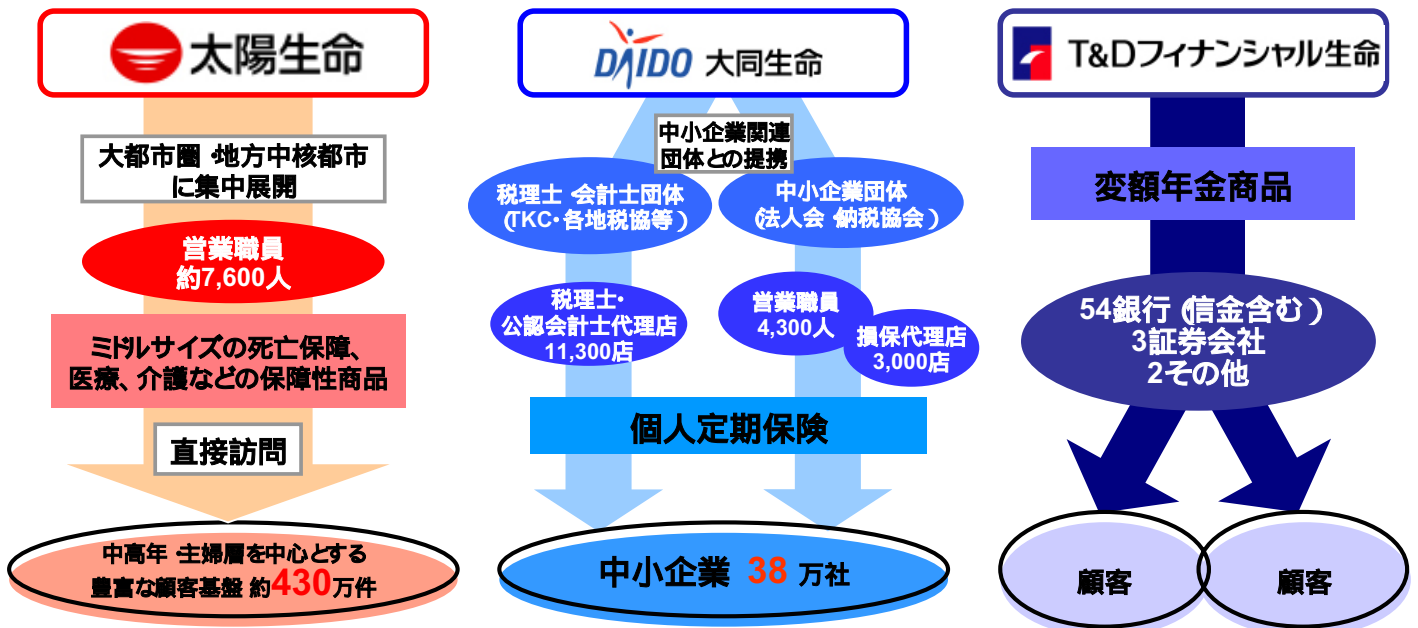


出所: 生命保険事業概況より当社作成

* 変額個人年金保険の新契約高を記載

** 第三分野商品 (単品商品・特約含む) の保有契約高に対する年換算保険料。各決算期末で生命保険会社の合計数が異なるため単純な比較はできない

生保3社のビジネスモデル



商品戦略

商品種類別の収益性と成長力

		成長力		
		小	中	大
収益性	高			第三分野
	中	死亡保障 (職域市場)	死亡保障 (中小企業市場 家庭市場)	
	低	養老保険など 旧来型の 貯蓄性商品		変額年金

*現時点での分類であり、各商品のリスク等は考慮していません。当社作成のため、各社の認識と異なる場合があります。

大同生命

収益性の安定している個人定期保険の保有契約高拡大

太陽生命

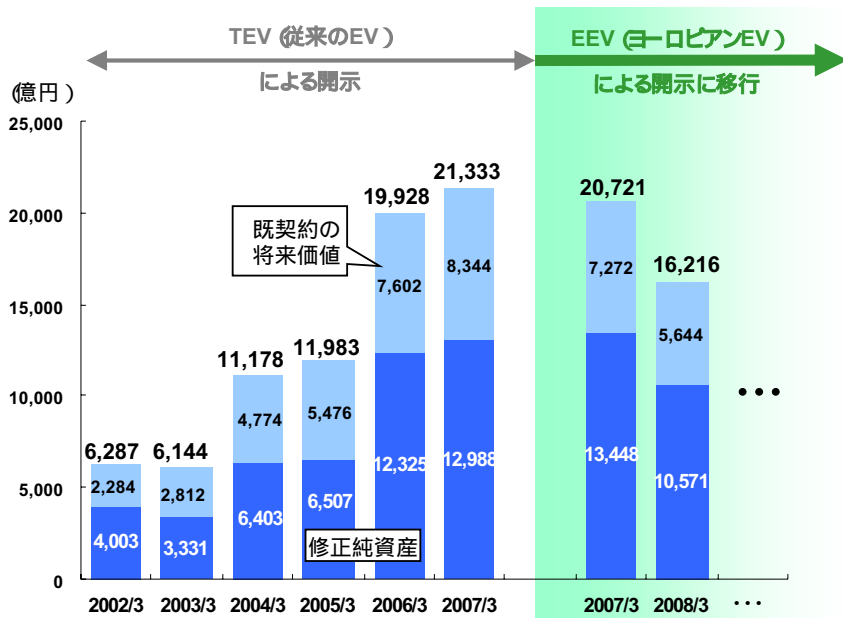
将来の給付リスクを鑑み、死亡保障商品と第三分野商品をバランス良く販売

T&Dフィナンシャル生命

変額年金を中心とした資産形成型商品の保有契約高を拡大

EVの推移

T&D保険グループ(生保3社合算)のEV



* 2002/3および2003/3は太陽生命、大同生命2社の合算値、2007/3はTEV、EEVともに開示

TEVからEEVへの移行

T&D保険グループは、企業価値の指標をEV(エンベディッド・バリュー)とし、年1回(本決算時)開示しています。

EVは多くの前提条件のもとで計算されます。従来のEVでは、会社ごとに前提条件が設定され、比較性及客観性などの点が課題となっていました。

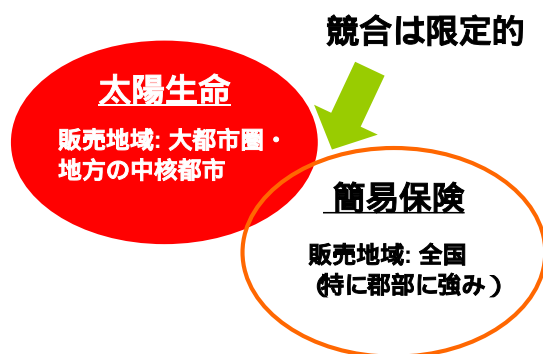
そこで、ヨーロッパの大手生保のCFOによって構成されるCFOフォーラムが「EEV(ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー)原則」を制定し、ヨーロッパではこれに従ってEVの算出が行われるようになりました。

計算方法や開示内容について一貫性・透明性を高めるため、T&D保険グループは2008年3月末以降、EEV原則に準拠した形で計算したものを開示しています。

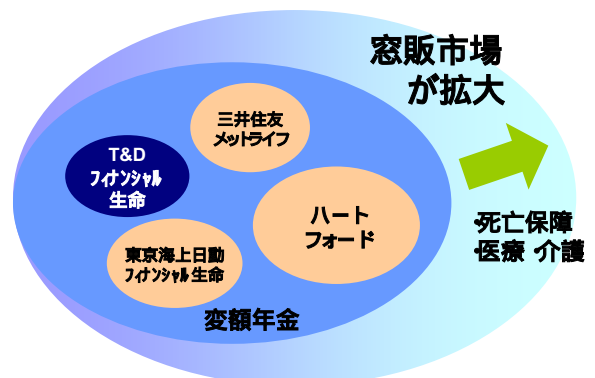
規制環境の変化による市場への影響

- T&D保険グループ生保3社の市場・商品は、独自のビジネスモデルにより差別化を図っています

郵政民営化 (2007年10月)



銀行窓販の全面解禁 (2007年12月)



*当社作成のため、各社の認識と異なる場合があります。

本資料への問い合わせ先

株式会社 T&Dホールディングス

経営企画部 IRグループ

電話：03 (3434) 9142

<http://www.td-holdings.co.jp/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画や予想と異なる可能性があることにご留意ください。